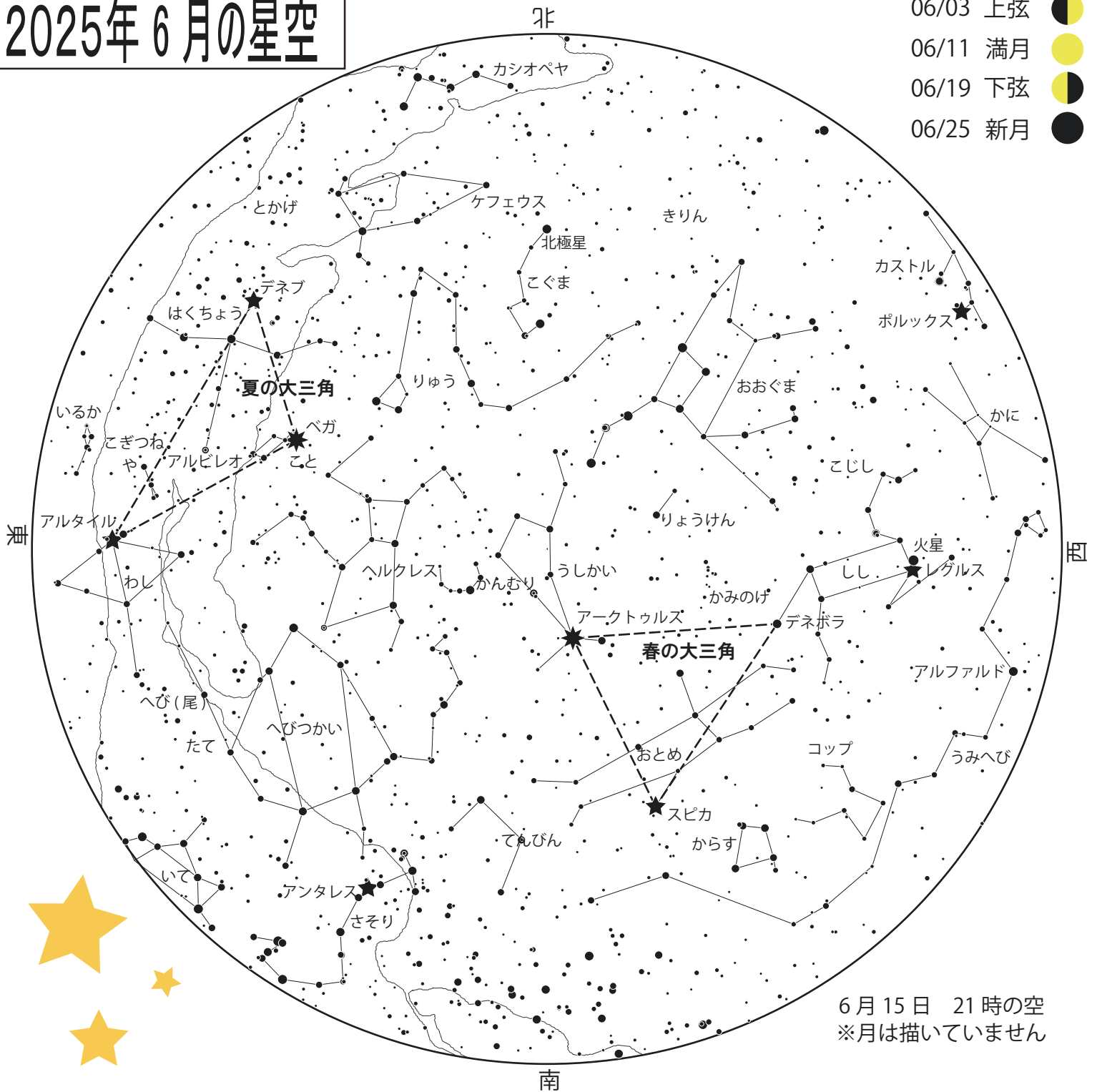


姫路で見る 2025年6月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 06/03 上弦 
- 06/11 満月 
- 06/19 下弦 
- 06/25 新月 



6月15日 21時の空
※月は描いていません

季節はすでに夏、6月21日は1年で最も夜が短い**夏至**です。空がようやく暗くなった頃、西の空には赤っぽく輝く**火星**が見えてきます。夜遅くになると、東の空から**土星**が昇ってきます。また未明に東の空に昇る**金星**は、1日に**太陽**から最も離れる**西方最大離角**となって、マイナス4.4等と明るく輝きます。

春の星座は西に傾いていますが、まだ春のシンボルは健在です。北の空高く、ひしゃくの形をした7つの星の並びの「**北斗七星**」が見つかります。ひしゃくの柄のカーブを伸ばすと、オレンジ色に輝く**うしかい座**の1等星**アークトゥルス**が見つかります。熊の番人という意味で、**おおぐま座**を追いかけているように見えます。カーブの先には、白く輝く**おとめ座**の1等星**スピカ**があります。尖ったものという意味で、靴の裏に取り付けるスパイクの語源といわれています。**アークトゥルス**、**スピカ**、**しし座**の**デネボラ**を直線で結ぶと、春のシンボルの「**春の大三角**」になります。

東の空には夏の星座が顔をのぞかせています。**こと座**の**ベガ**は七夕の物語に出てくる**織姫星**、**わし座**の**アルタイル**は**彦星**です。2つの星とはくちょう座の**デネブ**をつないでできる「**夏の大三角**」は、夏のシンボルです。